

令和元年度（平成30年度対象）

教育委員会の点検・評価

令和元年8月

長南町教育委員会

目 次

■ はじめに	・・・・・・・・ 1
■ 平成30年度教育委員会の指針	
○ 学校教育の指針	・・・・・・・・ 2
○ 社会教育の指針	・・・・・・・・ 3
■ 点検・評価結果	
○ 学校教育の指針	
（1）「生きる力」の育成	・・・・・・・・ 4
（2）言語・体験活動の充実	・・・・・・・・ 5
（3）地域とともに歩む学校づくり	・・・・・・・・ 6
○ 学校給食の指針	
（1）心身の健全な発達と豊かな生涯生活の基礎の構築	・・・・・・・・ 7
○ 社会教育の指針	
（1）学習ニーズに対応した社会教育	・・・・・・・・ 8
（2）青少年の健全育成	・・・・・・・・ 9
（3）体育・スポーツの振興	・・・・・・・・ 10
（4）伝統文化の継承と振興	・・・・・・・・ 11
■ 資料等	
○ 主な事業一覧	・・・・ 12～21

はじめに

1 趣旨

長南町では、第4次総合計画で「自然が誇り、住むことが誇り、元気な町 長南」を目指し、将来像を実現するための施策の6つの基本方針の1つに「人と文化が輝く人間性豊かなまち（教育・体育・文化）」を推進するため「生涯にわたり自己を高めようとする住民の意識等に対応した芸術・文化活動、生涯学習、体育・スポーツ活動の積極的な展開を図っていくこと」、「将来の町を担う大切な子供たちが、心豊かでたくましく、常に成長する気持ちを持ち続けられる大人に育つ長南町を目指していくこと」を掲げています。

長南町教育委員会では、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき「長南町教育委員会の点検・評価」（以下「点検・評価」という。）を実施し、報告書にまとめました。

2 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、長南町総合計画に位置づけられた施策目標の重点的な取り組みとして「実施計画」に位置づけて実施した、平成30年度の主な施策・事業の成果をもとに、教育委員会が示した主要な指針としています。

3 点検・評価の方法

- （1）点検・評価にあたっては施策、事業の進捗状況を明らかにするとともに、課題等を分析し、今後の対応方向を示します。
- （2）点検・評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する外部の方々のご意見をお聞きする機会を設け様々なご意見、ご助言をいただきました。

個性の伸長と「生きる力」を育む長南町の教育

安心

確かな学力と豊かな心を持ち、
故郷を愛する「長南の子」の育成

安全



小学校

長南町教育（小中一貫教育）の推進

中学校



心豊かで
確かな学力を身に付けた
ふるさとを愛する児童の育成

変化に対応でき、
確かな学力を身につけた、
健康で心豊かな生徒の育成

学力と「人づくり」の教育

① 「生きる力」の育成

21世紀の国際社会を主体的に、たくましく生きる子どもを育成するための「生きる力」の育成

人生を拓く「確かな学力」

読み・書き・計算
知 自ら学び、自ら考える子
個に応じた指導と授業改善



思いやりのある「豊かな心」

徳 道徳教育の充実
人との関わり・地域学習



活力にあふれる「健やかな体」

体 健康で丈夫な心身をつくる意欲
健全な生活習慣



② 言語活動・体験活動の充実

主体的・対話的な学び
学習意欲・自己肯定感を
高める



キャリア教育の推進
すべての教育活動で



キラリ輝く長南っ子事業
地域の伝統工芸・文化の継承
本物の芸術に触れる事業



特色ある外国語活動
教室を離れて
活動主体の楽しい授業



③ 地域とともに歩む学校づくり

「社会に開かれた教育課程」の実現

コミュニティ・スクール構想
地域学校協働活動の推進



- ◎ 基本的習慣の徹底（自転車の乗り方・好ましい人間関係・学習のきまり等）
- ◎ 不登校0、いじめ0への取組（いじめ防止対策基本方針・小中連携）
- ◎ 地震や火災・不審者への避難訓練の徹底
- ◎ 人権教育、個性伸長の教育、命の大切さの教育の意図的・計画的・継続的な実践



あなたが主役！
参加してみませんか！長南町の社会教育へ。



さくら

《社会教育の指針》

人間性あふれる教育文化の向上

《うるおいと生きがいのある地域づくりをめざして》



うぐいす



ひのき



べにばな

長南町の社会教育施設



海洋センター



郷土資料館



中央公民館

①学習ニーズに対応した社会教育

家庭教育・子育て教育への支援

家庭教育支援講座

町PTAへの活動支援

町民のだれでも学べる教室・講座の実施

生涯学習・健康づくり教室

人権教育への支援

人権講演会



②青少年の健全育成

青少年育成組織の充実と活動支援

青少年相談員活動

親子デイキャンプ

野外体験講座等の開催

わくわく体験クラブ・社会科見学

ほたる観賞会



③体育・スポーツの振興

スポーツ教室の開催

サッカー・水泳・柔道・空手道等

社会体育関係団体への活動支援

スポーツ少年団等

町体育協会・スポーツ推進委員の活動等

体育スポーツ活動の場の確保

町民体育祭・町民スポーツ大会等



④伝統文化の継承と振興

郷土文化の普及・学習支援

郷土資料館常設・企画展示

博学連携の推進

文化財の保護と活用

文化活動の振興と支援

文化祭の開催・文化団体支援



問い合わせ先：長南町中央公民館
TEL&FAX 0475-46-1194

学校教育の指針

施策 (1)	「生きる力」の育成
主要課題	21世紀の国際社会を主体的に、たくましく生きる子供を育成するために、「生きる力」の育成を図る。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・人生を拓く「確かな学力」 ・思いやりのある「豊かな心」 ・活力にあふれる「健やかな体」
主な取組事業	<p>1) 国際理解教育事業（外国語指導助手業務委託） 小学校の全学年に外国語指導助手（ALT）を配置し、英語活動等を行った。1～4学年35回／年、5～6学年50回／年。 また、中学校全学年にも配置し、英語科におけるティーム・ティーチングによる指導、また保育所の英語活動も併せて行った</p> <p>2) 海外交流研修事業 期 日：平成30年8月5日～8月13日 研修地：オーストラリア（ゴールドコースト） 研修生：中学生20名（長南町）引率2名（長南町） 内 容：ホームステイ6泊 ホテル1泊 機内泊1泊（8泊9日） 訪問校：ゴールドコースト・クリスチャン・カレッジ5日間 その他：自然体験学習（スプリング・ブルックス公園）</p>
課題問題点	<p>体験的外国語活動（長南町独自）の実施における時数の確保が難しい。</p> <p>海外交流研修は、生徒数の減少等により現在長柄町との合同開催となっているが今後検証が必要になってくる。又、本年度実施するにあたり、引率者（英語科）の研修会等もあり、日程調整の必要があった。</p>
学識経験者の意見	<p>ALTを活用し、小中学校のみならず保育所まで英語教育を導入していることは大変評価できる。今後は、小中一貫教育を見据えてより系統的に指導できるように教育課程の工夫に努めてもらいたい。</p> <p>小学校での英語体験学習は、実践的英語力を習得するうえで意義ある場であると考えられる。</p> <p>中学生の海外派遣については、平素の英語教育の実践の場、異文化にふれる場と目的は多く、文化・環境の違う外国で「生きる力」をはぐくむ貴重な体験である。財政的には、負担が伴うものであるが是非継続していただきたい。</p>
委員会の評価	<p>外国語教育は継続して外国語指導助手（ALT）を派遣し保育所、小・中学校の英語教育の充実を図り、国際社会を生きるためのコミュニケーションの素地を育成することができた。今後、小学校の英語活動と中学校の英語科の円滑な接続を期するため、指導法の改善や小中の連携が求められる。</p> <p>海外交流研修事業は英語教育の実践の場であり、異文化にふれる場として貴重な体験でもあることから、今後も改善しつつ継続していく必要がある。</p>

学校教育の指針

施策 (2)	言語活動・体験活動の充実
主要課題	<p>大集団の中で育てなければならない資質・能力の育成を図りつつ、個を大切にしたいきめ細かい指導の充実を図る。</p> <p>地域・保護者に見える教育活動、地域と連携した教育への取組を図る。</p>
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・統合により生まれた大集団ならではの教育を推進しつつ、個々の考えを大切にする主体的・対話的な学びをめざし、教育活動を展開した。 ・キラリ輝く長南っ子事業で特色ある教育への取り組みを図った ・学校評議員制度を活用し地域の連携の在り方の意見を求めた。
主な取組事業	<p>1) 学習支援指導員・教科指導員派遣事業 学級内の学習支援体制づくりの支援やティーム・ティーチング、習熟度別指導への支援のために指導員を派遣した。 学習支援指導員 5 名 (小学校 3 名, 中学校 2 名) また、専門的な知識を有する教科指導員 (1 名) を週に 3 日配置し、教員の授業力向上のため小中学校で指導にあたった。</p> <p>2) キラリ輝く長南っ子事業 児童・生徒が各自の目標に向かって漢字検定にチャレンジするとともに、中学生においては、英語検定に取り組んだ。 又、地域の伝統工芸である芝原人形作り (小4年生)・太巻寿司作り (小5年生)、生け花体験学習 (小6年生)、べに花染め (中1年生)、べに花を使ったコサージュ作り (中3年生) を行い、郷土への興味・関心の育成を図った。</p> <p>3) 学校評議員制度 学校評議員や保護者からの意見等を各学校で検討し、改善策を図ることで地域との連携を深めた。</p>
課題問題点	<p>学習支援指導員の派遣に関しては、教員の世代交代の時期となっており、恒久的な人材確保が課題である。</p> <p>学校教育活動では、家庭 (保護者) や地域住民に理解と協力を得るために、学校・教育委員会との連携が非常に重要である。</p>
学識経験者の意見	<p>学習支援指導員等、子供たちの様々な課題に対応した支援が図られていることは、子ども一人ひとりの個性の伸長に大きく貢献すると考えられ、大いに評価できる。「確かな学力」を育むためにも、担任との十分な連携のもとにきめ細かく実施してほしい。</p> <p>「キラリ輝く長南っ子事業」は子供たちが大変興味関心を持つと考える。この事業が学校での授業と関連して更に広く深く実施されることで、学力向上につながることを望む。</p> <p>近年、児童・生徒の発達障害について報告がなされている。子供たちが学校の中で、十分に理解され、受け入れられるように、親の願い、子供の願いに細やかな配慮を望む。</p>
委員会の評価	<p>学習支援指導員の活用では、きめ細かな指導により確かな学力を培うことができたばかりでなく、特別な支援の必要な児童生徒への対応にも有効であった。</p> <p>キラリ輝く長南っ子事業の漢字能力検定は、7 年経過していることから、中学校において「英語検定」を導入した。又、地域の伝統工芸継承については、「郷育」推進の観点からも、郷土の素晴らしさを知ることのできる貴重な体験であると考ええる。</p>

学校教育の指針

施策（３）	地域とともに歩む学校づくり
主要課題	小学校の統合、併設型小・中学校の運営にあたり、小中一貫型教育の推進を図るとともに、町内唯一の小学校、中学校であることを踏まえ、地域から信頼され、地域から応援される学校づくりのため「地域に開かれた教育課程」の実現を図る。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫型教育の推進に向けた、校長・教頭・教務主任等と教育委員会による「長南町一貫教育推進委員会」の実施。 ・地域人材の活用によるふるさと学習（郷育）の一層の推進。
主な取組事業	<ol style="list-style-type: none"> 1) 小中一貫型教育の推進に向けて、小中学校の交流事業（教員相互の授業参観、合同避難訓練、PTA奉仕作業、花火警備等）を実施。 2) 地域人材を活用した様々なふるさと学習（郷育）を積極的に推進し、地域の人々との交流を大切にする事で、地域の活性化とともに、長南が大好きな子どもの育成を図る。 3) 町社会福祉協議会とも連携しながら介護施設訪問、独居老人弁当折り紙作り等の活動を通して、福祉教育の推進を図る。 4) 地域のボランティアを活用した子どもたちの見守り活動（スクールバス見守りボランティア）等の充実。
課題問題点	地域の方々の協力を得て学習を充実させるためには、連絡・調整とともに地域人材の把握が必要である。これらには多くの時間と労力を必要とすることから、現在、小学校にコーディネーターを1名配置し取り組んでいる。
学識経験者の意見	<p>「地域に開かれた教育課程」を掲げ、地域人材を活用した「郷育」を進めることは高く評価する。地域の人材や教材を教育課程に取り入れたり、登下校の安全確保のためボランティア活動にも協力をいただいたりしているが、それらをコーディネートし、組織化する取り組みの先に長南町のコミュニティー・スクール構想をうかがえる。</p> <p>福祉教育として、子供たちが地域に働きかける活動に取り組んだことも「地域に開かれた教育課程」として評価できる。</p> <p>小中一貫型教育の推進に向けた「長南町一貫教育推進委員会」が実施されたことを評価する。小中学校職員が、同一の見方に基づいて子供の発達段階に応じた教育に取り組んでいただきたい。</p> <p>コーディネーターの配置を高く評価する。学校運営協議会、学校支援本部の設置により、学校を支援する組織として有意義なものを目指していただきたい。</p>
委員会の評価	「地域に開かれた教育課程」の実現を図るには、様々な工夫や連携が必要となってくる。今後、学校と地域の間に立ち双方の連絡・調整が可能な組織作り「学校運営協議会（コミュニティー・スクール）」・「学校支援本部」を推進して行く。

学校給食の指針

施策（１）	心身の健全な発達と豊かな生涯生活の基礎の構築
主要課題	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活における食事について、正しい理解と望ましい習慣を養う。 ・学校生活を豊かにし、明るい社交性を養う。 ・食生活の合理化、栄養の改善及び健康の増進を図る。 ・食糧の生産、配分及び消費について、正しい理解に導く。
取組内容	学校給食法に基づき、町内の小学校１校、中学校１校の児童・生徒及び職員等を対象に安全で安心な給食を年間１９５日提供した。
主な取組事業	<ol style="list-style-type: none"> １）給食の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校の児童・生徒及び職員などの４５９人に８９，５０５食の給食を提供した。 ・週５日の内、米飯給食４日、パン・麺類給食を１日提供した。 ２）啓発活動 <p>給食だよりを月１回初旬（８月除く）に発行し、児童・生徒を通じて家庭への啓発を行った。</p> ３）食育事業 <ul style="list-style-type: none"> ・栄養士の給食時訪問として、小中学校各クラス１回以上、給食時に訪問し食育の講話を行った。 ・食育の場として、１０月に入学前児童の保護者を対象に「食育」に関する講話を栄養士が参加して実施した。 ４）食物アレルギー対応事業 <p>食物アレルギー児童の保護者に「予定献立表（保護者選択用）」を配布し、事前にアレルギー食物の含まれる献立を把握してもらい、食物アレルギー児童・生徒に配慮した給食の提供に努めた。</p>
課題問題点	学校給食の栄養基準はもとより、児童・生徒の嗜好に応えるとともに栄養バランスのとれた給食を提供するため、献立の更なる創意工夫が必要である。
学識経験者の意見	<p>学校給食は、限られた予算の中で、安心安全な給食を年間に亘って提供されている。又、啓発活動、食育事業など児童・生徒、保護者を対象とした食育にも積極的に取り組まれたことは評価できる。</p> <p>家庭が食事のためにかける時間が減少する中で、食の意味、文化を伝えることも学校給食の役割に含まれてくる。今後ともご尽力を頂きたい。</p>
委員会の評価	<p>保護者との連携がよく図られ、食物アレルギーのある児童生徒に対しきめ細かな対応をしており評価できる。</p> <p>又、昨今、学校給食での異物混入等が報告されていることから留意が必要である。</p> <p>今後も、学校給食を楽しみにしている児童生徒のために安全で安心な給食提供に努めることが必要である。</p>

社会教育の指針

施策 (1)	学習ニーズに対応した社会教育
主要課題	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育・子育て教育への支援 ・町民のだれでも学べる教室・講座の実施 ・生涯学習教室の実施 ・人権教育への支援
取組内容	生きがいと、楽しさを求めて、共に学び、共に楽しみ、より充実した時間が過ごせるように5～2月まで講座ごとに年10回開催して、地域活動の拠点としての公民館活動の位置づけに取り組んだ。
主な取組事業	1) 男の料理教室(第3金曜日) (料理の基本を学ぶ教室) 2) 女の料理教室(第3火曜日) (ヘルシー料理を学ぶ教室) 3) 野菜園芸教室(第3土曜日) (季節野菜等の栽培を学ぶ教室) 4) そば打ち教室(隔月第4月曜日) (そば打ちの講習と実践、試食) 5) ハワイアンリボンレイ教室(第2土曜日) (カラフルなりボンで小物やレイを作る教室) 6) 三味線教室(第1日曜日) (三味線の基礎を学ぶ教室) 7) パッチワーク教室(第2水曜日) (パッチワークを楽しみながら基礎から学べる教室) 8) 高齢者教室(第3水曜日) (高齢者向けの総合的な学習教室) 9) 歴史教室(第1木曜日) (郷土の歴史について知識を深める教室) 10) 英語教室A(第1土曜日) (親子で楽しく英語を学ぶ教室) 11) 英語教室B(第1土曜日) (楽しみながら英語力を高める教室)
課題問題点	事業内容について参加者から高評価を得ているが、各教室の中には、出席率の良い教室生と出席率が芳しくない教室生が見受けられる。 教室の内容等については講師にお任せているが、何故、出席率の低いのか、問題点等を確認し、少しでも改善できるように努力する必要がある。
学識経験者の意見	幅広い年齢層を対象にして各種教室を開催し、円滑に実施していることは評価したい。ただ、男女別で各種教室の申込者数を見た場合、男性を対象とする教室を除けば、全体的に女性の申込者数が多く思われる。これについては色々な要因が考えられるが、今後は男性も気軽に自由に申込み・参加できる教室を検討することを願いたい。
委員会の評価	教室の最終日に教室生にアンケートを実施しているが、学びたい教室・開催してほしい教室は各世代間で、違うと思われる。その事から、教室生からのアンケートだけでなく、例えば、住民または各種公民館事業(イベント等)に参加者された方々から広くアンケート調査することを検討した方が良いかと思われる。

社会教育の指針

施策（２）	青少年の健全育成
主要課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 青少年育成組織の充実と活動支援 ・ 野外体験講座などの開催
取組内容	<p>社会の変化に対応し、これからの時代に生きる児童・生徒の望ましい人間形成を図るため、自ら考え主体的に判断し行動するための資質や能力の育成に取り組んだ。</p>
主な取組事業	<p>１）わくわく体験クラブ事業 週５日制に対する取り組みとして、土・日を中心に学校授業とは異なった体験プログラムによる学習効果や児童相互によるコミュニケーションを図った。</p> <p style="text-align: center;">①科学教室 ②社会科見学 ③お菓子作り ④歴史探検 ⑤社会科・食育見学 ⑥工作教室 ⑦クッキング</p> <p>２）青少年相談員連絡協議会活動事業 地域社会での青少年の良き相談相手となり、青少年健全育成活動の積極的な推進を図るため、各種事業を実施した。</p> <p style="text-align: center;">①子ども祭 ②美化運動 ③ふれあいキャンプ ④文化祭</p>
課題問題点	<p>年々、児童生徒が減少していく中で、各種事業を開催して行く事は困難な事だと思われるが、事業内容がマンネリ化しないように協議・検討し、協調性や人間性を育むような密度の濃い内容の事業を開催するようにしなくてはならない。</p>
学識経験者の意見	<p>青少年が学校以外の組織により主体的に活動し、社会を構成する存在として健全に成長することは必須である。そのために、様々な活動の場を提供していることは評価できる。しかし、ただ単に事業を提供するだけでなく、本来の主旨である人間形成を図ることや自ら考え主体的に判断し行動するための資質が養われているか、常に考えて事業を計画し、実施していかななくてはならない。</p>
委員会の評価	<p>少子化が進む中で積極的に各事業を実施し多くの参加者を得て、しかも好評であったことは評価できる。今後においても常に子供たちの目線で事業内容等を計画し、事業における本来の目的・意義等を再確認し、参加して良かったと思えるような事業を開催できるようにして頂きたい。</p>

社会教育の指針

施策（３）	体育・スポーツの振興
主要課題	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ教室の開催 ・社会体育関係団体への活動支援 ・体育スポーツ活動の場の確保
取組内容	スポーツを通じ青少年の育成支援
主な取組事業	<p>１）スポーツ教室の開催</p> <p style="padding-left: 40px;">武道教室（柔道・空手道）・水泳教室・雪国体験</p> <p>２）社会体育関係団体への支援</p> <p style="padding-left: 40px;">スポーツ少年団活動（サッカー・軟式野球・ミニバスケットボール）</p> <p style="padding-left: 40px;">・体育協会活動、スポーツ推進委員活動</p> <p>３）体育スポーツ活動の場の確保</p> <p style="padding-left: 40px;">バレーボール大会・空手道大会・町民ゴルフ大会</p> <p style="padding-left: 40px;">グランドゴルフ大会・ウォーキング大会</p>
課題問題点	<p>拠点となるスポーツ施設について、完成から３０年以上が経過し、今後、大規模な改修等が必要となってくる。</p> <p>テニスコート：昭和５２年（４２年）、陸上競技場：昭和５６年（３８年）、体育館：昭和５６年（３８年）、プール：昭和６０年（３４年）、野球場：昭和６３年（３１年）</p>
学識経験者の意見	<p>青少年の健全育成に向けて、スポーツ教室や社会教育団体等で行われるスポーツ活動は成果を収めている。特定の町民以外でも気軽に参加できるようなスポーツの普及に努めてもらいたい。各スポーツ施設を継続的に活用するために、計画的に補修点検を続けてもらいたい。</p>
委員会の評価	<p>体育協会等の協力により、武道教室・スポーツ少年団活動を通じて青少年の健全育成を図ることができた。また、体育スポーツ活動を通じ老若男女のスポーツ活動に貢献できた。</p> <p>今後においても、継続的な教室の開催及びスポーツの普及に向けて、積極的な広報活動や教室生の募集を行っていく必要がある。</p>

社会教育の指針

施策（４）	伝統文化の継承と振興
主要課題	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土資料館による郷土文化の普及・学習支援 ・町文化団体への活動支援 ・文化財の保護活動
取組内容	町内に所在する文化財を保護するため、指定・巡視・調査など直接的な保護活動を行うほか、文化財への理解を広く一般に普及するために、郷土資料館等で展示・イベント活動を行う。
主な取組事業	1) 県指定史跡油殿古墳群 史跡内草刈の実施 2) 企画展の開催 ①「子どもたちが作った長南袖展」5月1日～6月3日 ②「レトロ教科書の世界」11月3日～12月2日 ③「写真でつづる千葉県と鉄道」1月12日～1月27日 ※千葉県博図公連携事業として実施。 ④「春の人形ギャラリー」3月2日～4月14日 3) 文化祭の開催 展示部門 11月2日～4日 芸能部門 11月11日 4) 町指定文化財の新規指定 「木造賓頭盧尊者坐像」（宝泉寺／坂本）5月28日指定 5) 博学連携 ①長南小6年生・町内出土遺物解説による原始・古代の学習 ※油殿古墳群見学及び県教委による「土器つと古代宅配便・火起こし体験」と併行して実施。5月15日 ②長南小4年生・展示品解説による芝原人形の学習 10月25日
課題問題点	改正文化財保護法には、地方自治体の地域計画策定による国の権限の一部委譲や、条件付きで文化財行政の首長部局移管が可能になるなど、地方自治体の文化財行政にも大きく影響する内容を含んでいるが、それぞれの自治体の規模や事情によってそのメリット・デメリットは様ではないことが見込まれる。よって、しばらくは全国的な動向を注視していく必要がある。
学識経験者の意見	伝統文化の風化、文化財の保護など課題は多い。そうした中で、各種の文化財保護や展示活動、資料の整理を地道に行っていることを評価する。また「博学連携」は子供たちの郷土愛と思考力を高めることに有効であり、今後の学習に生きて働くと思われる。大人も子供も関わる人が貴重な経験となるような活動にしてほしい。油殿古墳群の環境整備の取り組みについては、敬意を表するとともに今後の活用についても検討してほしい。資料館は老朽化が目立ってきており、複合施設への併設等の必要性も感じ
委員会の評価	児童が実物資料に接しながら学ぶことは、学習効果が高いと思われるので、「博学（博物館と学校）連携」は今後も力を入れるべきと考える。 また、小学校統合に伴い移管された4小学校の資料整理が進められているが、いずれ展示等によって、その成果を目に見える形にすることが望ましい。

資 料

【事業一覧】

学校教育課

主 な 事業名	事業費	事 業 内 容	成 果
キラリ 輝く長 南っ子 事業	千円 3,000	漢字能力検定・英語技能検定事業、伝統芸能・文化体験事業、合同芸術鑑賞会を行い、特色ある教育活動に取り組んだ。	検定事業により、基礎学力の向上とともに、伝統文化等に触れることで、郷土愛を育て、合同講演会では、児童生徒に大きな感動を与えることができた。
		<p>◆長南小学校</p> <p>1. 漢字能力検定事業（全学年）</p> <p>2. 伝統芸能・文化体験事業</p> <p>①芝原人形作り（4年生）</p> <p>②太巻き寿司作り（5年生）</p> <p>③生け花（6年生）</p> <p>④英語体験学習（3・4年生）</p>	<p>1. 漢字能力検定事業 漢字検定への取り組みを通して、児童の学習意欲が高まり、学習への習慣化が図れた</p> <p>2. 伝統芸能・文化体験事業</p> <p>①地域の伝統に触れ、創作活動を楽しむことができた。</p> <p>②郷土料理である太巻き寿司を地域の方々に直接指導いただき、郷土愛や太巻き寿司への関心が高まった。</p> <p>③華道の基本的な形を取り入れた手法を体験を通して学び、日本の伝統文化に触れることができた。</p> <p>④体験活動を通して、必要に迫られた中で英語のフレーズを学び、身に付け、英会話に高い関心を持つことができた。</p>
		<p>◆長南中学校</p> <p>1. 検定事業</p> <p>①漢字能力検定事業（全学年）</p> <p>②英語技能検定事業（全学年）</p> <p>2. 伝統芸能・文化体験事業</p> <p>①べに花染め（1年生）</p> <p>②コサージュ作り（3年生）</p> <p>3. 合同講演会【小・中学校合同】</p> <p>講師 武田双雲氏</p> <p>「文字の力 言葉の力 生きる力」</p>	<p>1. 検定事業 検定事業は、全校で取り組むことが出来、漢字・英語に興味関心を持って、意欲的に取り組んだ。</p> <p>2. 伝統芸能・文化体験事業 べに花染めは、その歴史を学ぶとともに染色の難しさや不思議を体験できて生徒により経験となった。また、べに花を使ったコサージュは、3年生が作成し、卒業式に各自の保護者に着けてもらうことができ好評であった。</p> <p>3. 合同講演会 講演は、テレビ等で活躍している芸術家から直接話が聞けたことで、児童・生徒が世の中で使われている広告文字や所への関心を高めさせることが出来た。又、人それぞれに個性があり、考え次第で人生が変わるというポジティブ思考を持つことが大切である事に多くの児童・生徒が共感していた。（小・中学生385人、保護者20名）</p>

(1) 実施事業等

ア 教育支援委員会

平成30年7月5日(木) 第1回長南町教育支援委員会

①教育支援児童生徒の教育支援について

平成30年11月29日(木) 第2回長南町教育支援委員会

①教育支援児童生徒の就学指導について

②就学時健康診断結果について

②就学時健康診断結果について

イ 海外交流研修事業

平成30年5月16日(水) 第1回長南町海外交流研修事業推進協議会

①平成30年度長南町海外交流研修事業について

②平成30年度に係る派遣者の決定について

平成30年 5月31日(木) 第1回事前研修会(概要説明)

平成30年 6月26日(火) 第2回事前研修会(講義)

平成30年 7月11日(水) 第3回事前研修会(講義)

平成30年 7月27日(金) 結団式・第4回事前研修会(講義)

平成30年 8月 5日(日)～8月13日(月) 平成30年度海外交流研修実施

○研修先：オーストラリア連邦(ゴールドコースト方面)

○参加者：2年生14名 3年生6人 計20名

○引率者：団長 佐藤 功、引率 川野治一

平成30年 8月23日(木) 帰国報告会(町長)

平成30年 9月18日(火) 第2回長南町海外交流研修事業推進協議会

(2) 学校関係

①東上総教育事務所指導室訪問 平成30年6月14日(木) 長南中学校

②東上総教育事務所所長訪問 平成30年6月26日(火) 長南小学校

【学校給食事業】

給食所

・総給食数

	児童生徒数（人）	職員数等（人）	給食数（食）
長南小学校	261	26	55,965
長南中学校	140	21	31,395
給食所		9+2(検食・保存食)	2,145
合 計	401	58	89,505

【事業一覧】

生涯学習課

主な事業名	事業費	事業内容
社会教育事業	1,212	町民の学習要求、地域の実情に応えた講座、行事等の開催
	248	1. わくわく体験クラブ:参加者数 290名 ①科学教室/屋内プラネタリウム 5月3日(木・祝):132名 ②社会科見学/江戸風鈴作り体験 6月30日(土)24名 ③キッズクッキング/お菓子づくり 7月24日(火):22名 ④歴史探検/火おこしと土器を使った煮炊き体験 8月5日(土):26名 ⑤キッズクッキング/お菓子作りの会 8月6日(日):20名 ⑥社会科見学/スイートポテト作り体験(茨城県) 9月8日(土):24名 ⑦工作教室/ステンドグラス風アート 10月27日(土):25名 ⑧ キッズクッキング/たまごマジッククッキング 12月22日(土):17名
	33	2. 単発学習教室・短期集中学習教室 62名 ①初めての方の薬膳教室(短期集中型) 1/27(日)、2/24(日):21名 ②教養講座・仏像の見方教えます(単発型) 2月24日(日):36名
		3. ホタル観賞会:参加者数 1,681名 6月8日(金)～10日(日)
	5	4. ふるさと産品教室:参加者数 16名 正月飾り 12月24日(日)
	33	5. 七歳児合同祝:参加者数 22名 11月15日(木):町中央公民館
	193	6. 成人式:参加者数 53名 1月13日(日):町中央公民館
	700	7. 青少年相談員:参加者数 61名 ①子ども祭in長南 5月3日(木・祝)9名 ②美化作業(花壇の花植え)5月20日(日)14名 ③ふれあいキャンプ 7月21日(土)・22日(日) 相談員13名、小学生40名 ④町民体育祭9月30日(日)*台風のため中止 ⑤町民文化祭 11月3日(土・祝)10名 ⑥長生地区「少年の日・地域のつどい大会」 11月18日(日) 8名 ⑦美化作業(花壇の花植え)12月1日(日)7名 ⑧スポレク大会(レクリエーション) 2月11日(月・祝)*降雪のため中止

【事業一覧】

生涯学習課

主な事業名	事業費	事業内容
公民館事業	744	町民のだれでも学べる教室・講座の開催
	635	1. 主催教室(公民館関係) :参加者数 1,872名 ①男の料理教室(全10回):66名 ②女の料理教室(全10回):111名 ③野菜園芸教室(全10回):82名 ④カイロプラクティック運動教室(全10回):100名 ⑤ハワイアンリボンレイ教室(全10回):100名 ⑥三味線教室(全10回):58名 ⑦パッチワーク教室(全10回):95名 ⑧高齢者教室(全10回):466名 ⑨歴史教室(全10回):323名 ⑩英語教室A(全10回):268名 ⑪英語教室B(全10回):151名 ⑫そば打ち教室(全5回)42名
	49	2. 子ども祭りin長南:参加者数 300名 ①子ども祭りin長南 5月3日(木・祝)
	60	3. 文化祭:参加者数 700名 ①文化祭:作品展示会 11月2日(金)~4日(日) :芸能発表会 11月10日(日)
資料館整理	349	資料収蔵資料整理作業
		1. 郷土資料館 4月~12月 作業員3名
文化財保護	289	指定文化財等の保護・活用
		1. 県指定史跡油殿古墳群の草刈 6月18(月)19日(火) 2月26日(火) 2. 町指定文化財説明板の設置 3月28日(木)
社会同和事業	50	人権についての正しい理解と認識を深めるために講演会を開催
		1. 人権講演会:参加者数 49名 ①人権講演会 1月19日(土) (福祉課・学校教育課・生涯学習課の 輪番担当制) *平成28年度:保健福祉課(現・福祉課) *平成29年度:学校教育課 *平成30年度:生涯学習課

【事業一覧】

海洋センター

主 な 事業名	事業費	内 容	成 果
社会体育 事業	4,178	○武道教室 開講式 4月15日(日) 尚武館 ・柔道教室 月・水・金曜日 18:30～21:00 ・空手道教室 土曜日 18:30～20:30	・教室生 16名 講 師 6名 ・教室生 16名 講 師 6名
		○水泳教室 開講式 7月24日(火) B&Gプール 7月24日(火)～8月28日(火) 10回開催 火・木曜日 18:00～19:30	・生徒数 67名 講 師 7名
		○長南グリーンウエーブスポーツ少年団 ・サッカークラブ 町陸上競技場 第1・3・5日曜日 9:00～12:00 第2・4土曜日 9:00～12:00 町体育館 水曜日 19:00～21:00 ・軟式野球クラブ 町野球場 土曜日 9:00～17:00 旧長南小学校グラウンド 日曜日 9:00～17:00 ・ミニバスケットボールクラブ 町体育館 土・日曜日 9:00～12:00 木曜日 17:30～19:30	・団 員 19名 指導者 7名 ・団 員 15名 指導者 7名 ・団 員 10名 指導者 4名
		○千葉県B&Gバレーボール大会 11月23日(金) 鋸南町B&G体育館外	・参加者 12名 町体協バレーボール部
		○体育協会関係 ・長南オープンゴルフ大会 6月6日(水) トーヨーカントリークラブ ・町民体育祭 9月30日(日) ・町民ウォーキング大会 2月23日(土) 豊栄神社・称念寺ウォーキングコース	・参加者 74名 ・台風により中止 ・参加者 46名

【事業一覧】

海洋センター

主 な 事業名	事業費	内 容	成 果
		・長生郡民体育大会 6月24日～7月22日 主会場:白子町	・参加者 149名 (17競技中12競技参加) 長南町総合5位
		○スポーツ推進委員会関係 ・雪国体験 2月1日(金)～2月3日(日) 新潟県妙高市	・参加者 34名

【教育委員会会議状況】

定例会 12回

開催日	議 決 事 項	協 議 事 項
第4回定例会 (4月25日)	(1) 長南町青少年問題協議会委員の委嘱について (2) 長南町同和対策集会所運営委員会委員の委嘱について (3) 長南町スポーツ推進委員の委嘱について (4) 平成30年度就学援助対象児童生徒の認定について	(1) 平成30年度教科用図書長生採択地区協議会委員の選任について
第5回定例会 (5月21日)	(1) 長南町文化財の指定について (2) 長南町社会教育委員の委嘱について (3) 長南町公民館運営審議会委員の委嘱について (4) 長南町給食所運営委員会の委嘱について (5) 学校評議員の委嘱について (6) 長南町私立幼稚園就園奨励費補助金交付規則の一部を改正する規則の制定について (7) 平成30年度就学援助対象児童生徒の承認について	
第6回定例会 (6月25日)	(1) 長南町公民館運営審議会委員の委嘱について (2) 長南町社会教育委員の委嘱について (3) 長南町教育支援委員の委嘱について (4) 長南町要保護及び準要保護児童生徒就学援助に関する要綱の一部を改正する告示の制定について	
第7回定例会 (7月25日)	(1) 平成31年度使用教科用図書の採択について	
第8回定例会 (8月27日)		(1) 平成30年度長南町一般会計補正予算(第2号)について
第9回定例会 (9月25日)	(1) 長南町教育委員会教育長職務代理者の指名について (2) 平成30年度長南町私立幼稚園園児補助金前期分の交付決定について	(1) 平成30年度七歳児合同祝について

	<ul style="list-style-type: none"> (3) 平成30年度就学援助対象児童生徒の追加認定について (4) 長南町給食所臨時調理員の再任用について 	
第10回定例会 (10月25日)	<ul style="list-style-type: none"> (1) 長南町要保護及び準要保護児童生徒就学援助に関する要綱の全部を改正する告示の制定について (2) 平成30年度長南町文化財奨励表彰について 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 平成30年度町民文化祭について (2) 平成30年度七歳児合同祝について (3) 平成30年度ふれあいコンサートについて (4) 平成30年度成人式について
第11回定例会 (11月26日)	<ul style="list-style-type: none"> (1) 平成30年度成人式について (2) 平成30年度人権講演会の日程等について 	
第12回定例会 (12月25日)	<ul style="list-style-type: none"> (1) 平成30年度私立幼稚園就園奨励費補助金交付対象者の決定について (2) 平成30年度就学援助対象児童生徒の認定取り下げについて 	(1) 長生地区市町村教育委員会連絡協議会研修会について
第1回定例会 (1月25日)	<ul style="list-style-type: none"> (1) 市原市教育委員会へ委託する学齢児童について (2) 平成30年度入学準備金支給対象者(平成31年度小学校入学予定者)認定について (3) 長南町学校運営協議会の設置及び運営に関する規則の制定について (4) 長南町コーディネーター配置事業実施要項の一部を改正する要項の制定について (5) 長南町給食所運営委員会委員の委嘱について 	
第2回定例会 (2月25日)	<ul style="list-style-type: none"> (1) 平成31年度教科用図書長生採択地区協議会規約の制定について (2) 平成30年度長南町私立幼稚園園児補助金後期分の交付決定について (3) 長南町教育功労者の表彰について 	
第3回定例会 (3月22日)	<ul style="list-style-type: none"> (1) 長南町給食所臨時調理員の任用について (2) 長南町教育委員会事務局組織の一部を改正する規則について 	

